【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年7月5日(2022.7.5)

【公開番号】特開2021-37165(P2021-37165A)
【公開日】令和3年3月11日(2021.3.11)
【年通号数】公開・登録公報2021-013
【出願番号】特願2019-161506(P2019-161506)
【国際特許分類】
Ａ４５Ｄ２０/１２(２００６.０１)
Ａ４５Ｄ２０/１０(２００６.０１)
【ＦＩ】
Ａ４５Ｄ２０/１２ Ｊ
Ａ４５Ｄ２０/１０ １０１
Ａ４５Ｄ２０/１２ Ｇ
Ａ４５Ｄ２０/１２ Ｄ
Ａ４５Ｄ２０/１２ Ｋ
Ａ４５Ｄ２０/１２ Ｆ

【手続補正書】
【提出日】令和4年6月27日(2022.6.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
本体部（１）と、本体部（１）の一端に装着される吹出し部（２）を備えており、
本体部（１）は、吹出し口（１４）と吸込み口（１５）とを備えるドライヤー本体（５）と、ドライヤー本体（５）の内部に設けられた送風ファン（６）、同ファン（６）を駆動するモーター（７）、および送風ファン（６）から送給される乾燥風を加熱する熱源（８）とを含み、
吹出し部（２）は、吹出し口（１４）から送給される乾燥風の送給方向を、吹出し口（１４）における乾燥風の送給方向と交差する向きに変向案内する変向ノズル（２０）を備えており、
ドライヤー本体（５）と変向ノズル（２０）の間に、変向ノズル（２０）から送給される乾燥風の送風領域と風速を調整する送風調整構造が設けられていることを特徴とするドライヤー。
【請求項２】
吹出し部（２）に変向ノズル（２０）で変向案内された乾燥風を吹出すノズル吹出し口（２４）が設けられており、
変向ノズル（２０）が、吹出し口（１４）から送給される乾燥風をノズル吹出し口（２４）へ向かって変向案内するノズル内壁（２２）と、ノズル内壁（２２）の外面の周囲を覆う少なくとも１個のノズル外壁（２３）とで多重壁状に構成されている請求項１に記載のドライヤー。
【請求項３】
吹出し部（２）は、吹出し口（１４）に装着される筒状のノズル台（１９）と、ノズル台（１９）で支持される変向ノズル（２０）とを備えており、
ノズル吹出し口（２４）は、ノズル台（１９）に形成される固定開口（２７）と、変向

ノズル（２０）に形成される可動開口（２８）とで構成されており、
送風調整構造を調整操作する風調整部（３４）が、可動開口（２８）から離れたノズル外壁（２３）に設けられている請求項１、または２に記載のドライヤー。
【請求項４】
ノズル台（１９）と変向ノズル（２０）の間に送風調整構造が設けられており、
変向ノズル（２０）が送風調整構造でノズル台（１９）に対して出没可能に支持されている請求項３に記載のドライヤー。
【請求項５】
変向ノズル（２０）を変向操作する風調整部（３４）がノズル外壁（２３）に設けられている請求項３または４に記載のドライヤー。
【請求項６】
風調整部（３４）が、ノズル吹出し口（２４）における乾燥風の送給中心軸（Ｐ）と直交するノズル外壁（２３）に設けられている請求項５に記載のドライヤー。
【請求項７】
送風調整構造が、変向ノズル（２０）のノズル外壁（２３）に設けた弾性変形可能な左右一対の調整腕（３１）と、ノズル台（１９）の内面上部に設けた左右一対の固定係合体（３２）と、調整腕（３１）の外面に設けられて固定係合体（３２）に係脱する複数の可動係合体（３３）と、調整腕（３１）に設けた風調整部（３４）とで構成されており、
風調整部（３４）が、ノズル台（１９）の外面に臨む調整腕（３１）の上端に設けられている請求項３から６のいずれかひとつに記載のドライヤー。
【請求項８】
ノズル内壁（２２）の縦断側面形状が、入口壁（２２ａ）および吹出し口壁（２２ｃ）と、これら両壁（２２ａ・２２ｃ）の間に形成される湾曲壁からなる変向壁（２２ｂ）で形成されている請求項２から７のいずれかひとつに記載のドライヤー。
【請求項９】
ノズル吹出し口（２４）と正対する側から見て、変向壁（２１ｂ）に連続する左右の変向側壁（２１ｄ）が上すぼまり状に形成されている請求項８に記載のドライヤー。
【請求項１０】
変向側壁（２１ｄ）と、左右の変向側壁（２１ｄ）に連続する変向壁（２１ｂ）の横断面形状が、後突湾曲状に形成されている請求項９に記載のドライヤー。